

資産の概要とその価値

1. 資産の名称: 百舌鳥・古市古墳群

2. 概要:

百舌鳥・古市古墳群は、百舌鳥および古市の2つのエリアに分布する古墳49基45件によって構成される。

これらは、古墳時代の最盛期にあたる、4世紀後半から5世紀後半にかけて築造されたものであり、**多様な墳形**(前方後円墳、帆立貝形墳、円墳、方墳)と**大小様々な規模**(400m以上から20m程度まで)の古墳が密集している【図1-3】。

特に大きな列島最大級の**前方後円墳【図5】**は、**古代日本の王の墓**と考えられるものである。これらを頂点として、大小さまざまに造り分けられた古墳は、**全国各地の古墳造りの見本**とされた。

各古墳は、葺石や埴輪などでにぎやかに飾られている【図4】。これらの装飾は、棺(ひつぎ)をおさめた埋葬施設を中心に配置されており、墳丘そのものに**葬送のまつりの舞台**としての意味があったと考えられる。

3. 構成資産:

古墳時代の最盛期である古墳時代中期(4世紀後半～5世紀後半)に築造された、総数49基45件の古墳(裏面資産分布図)

- ・百舌鳥エリア(大阪府堺市):23基21件
- ・古市エリア(同羽曳野市・藤井寺市):26基24件

⇒平成27年度版の総数59基から、保存状況が万全とは言えない古墳10基を除外。

4. 顕著な普遍的価値:

評価基準(iii)(iv)に適合すると考えられる。

(iii)古墳時代の文化の稀有な物証

- ・古墳＝被葬者の地位を表現した墳墓、ヤマト王権の影響下で広まった文化の象徴
- ・百舌鳥・古市古墳群＝各地の古墳築造の中心、もっとも多様な古墳群

(iv)日本列島における古代王権の形成・発展期を象徴する墳墓

- ・巨大かつ整美な墳丘＝葬送のまつりの舞台として設計された土製モニュメント、大規模な労働力の組織と高度な技術
- ・百舌鳥・古市古墳群＝古代王墓の顕著な事例

(参考)世界遺産の評価基準(世界遺産条約履行のための作業指針)

(iii)現存するか消滅しているにかかわらず、ある文化的伝統又は文明の存在を伝承する物証として無二の存在(少なくとも稀有な存在)である。

(iv)歴史上の重要な段階を物語る建築物、その集合体、科学技術の集合体、あるいは景観を代表する顕著な見本である。



図2 百舌鳥エリア航空写真

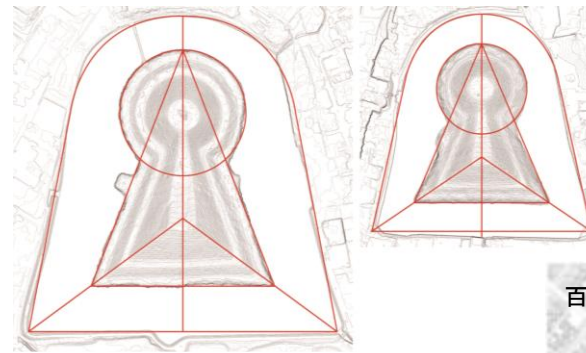
図1 築造当時の百舌鳥エリア



図4 墳頂部埴輪列復元図(応神天皇陵古墳)

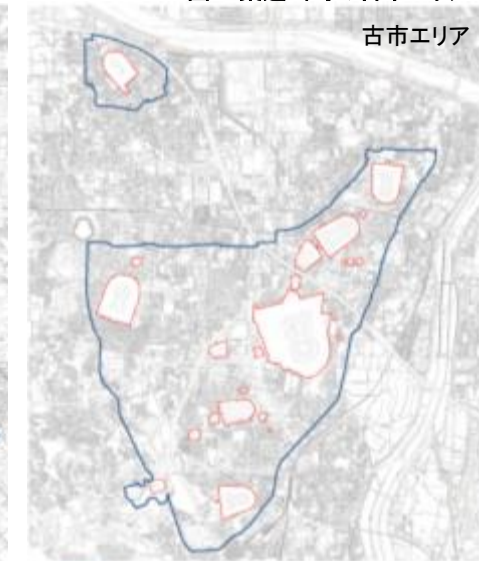
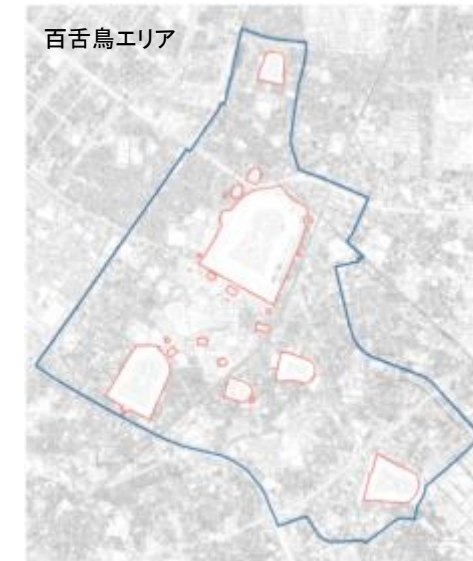


図3 築造当時の古市エリア



左:ニサンザイ古墳 右:白鳥陵古墳

図5 前方後円墳の設計



凡例 〇 資産範囲 □ 緩衝地帯

資産の保存管理

1. 包括的保存管理計画の枠組み:

策定の観点:a.資産の保護管理、b.緩衝地帯の保全、c.負の影響に対する大局的・広域的対応、d.来訪者への対応、e.地域コミュニティとの関わり
計画の構成:現状と課題、課題への対応、行動計画、経過観察、保存管理体制

2. 修正・補強ポイント:

保存管理にかかる記述のブラッシュアップ

- ・植生管理方針の明確化:伐採・除去の方針、史跡整備計画への位置付け
- ・緩衝地帯設定説明の精緻化:眺望以外の観点(埋蔵文化財・都市公園)

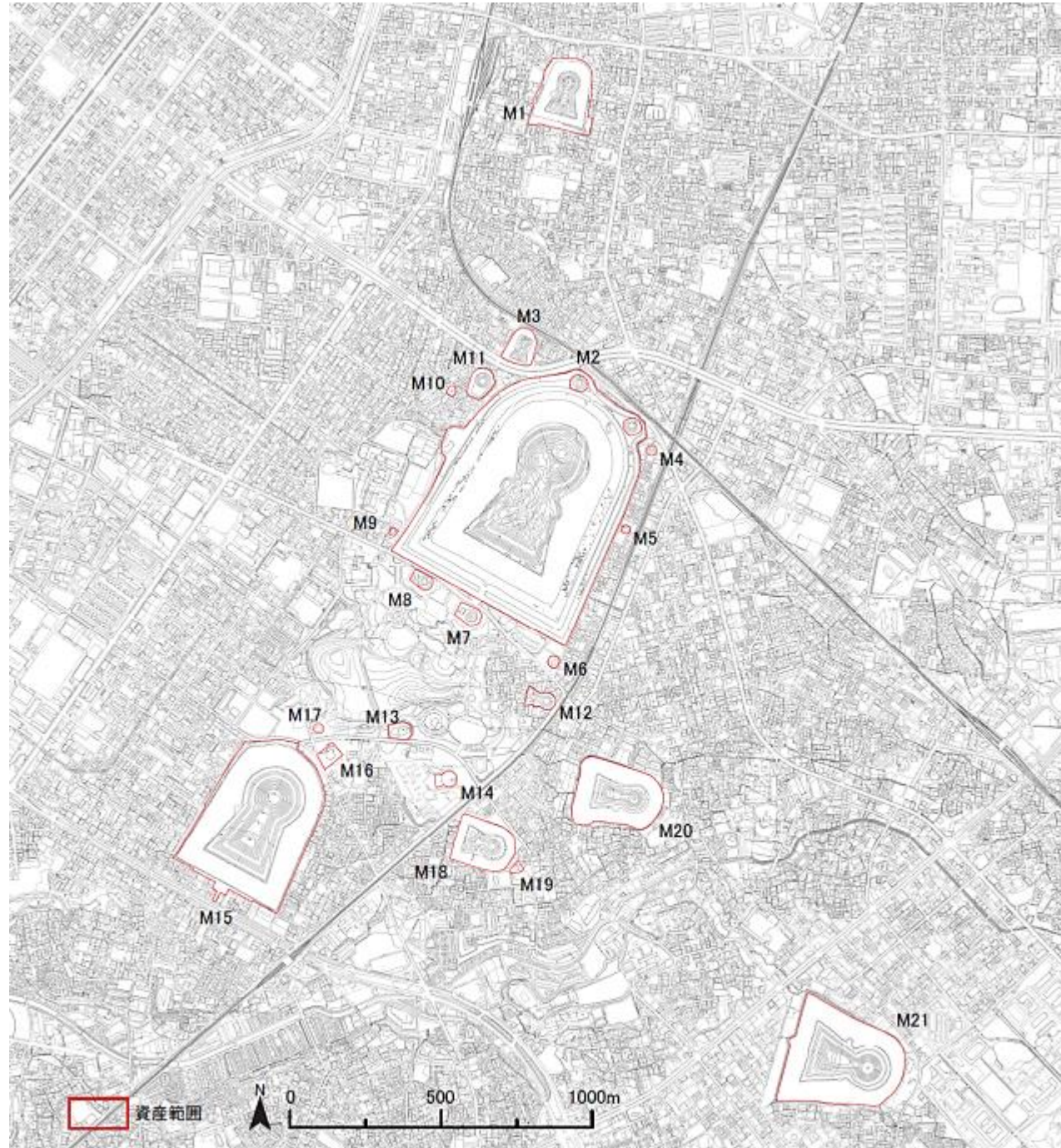
来訪者管理にかかる記述のブラッシュアップ

- ・地域活性化ビジョンの位置づけ
- ・設備・手段等の整備:案内看板、来訪者周遊のための歩道拡幅、レンタサイクル等

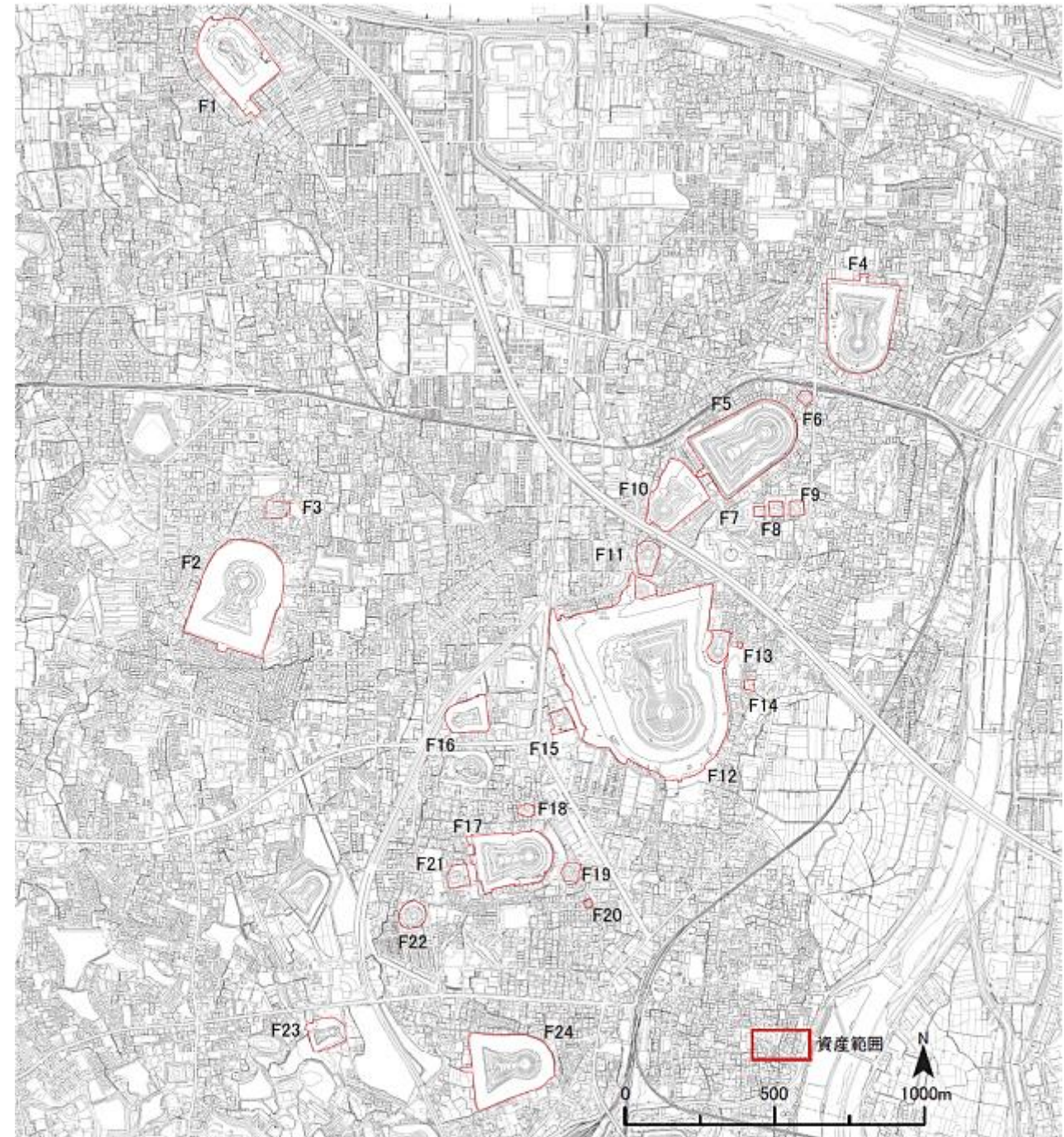


図6 資産の所在地

図7 緩衝地帯範囲図



- | | | | |
|-----------------------------|-----------|-------------|-------------|
| M1 反正天皇陵古墳 | M7 孫太夫山古墳 | M14 銭塚古墳 | M21 ニサンザイ古墳 |
| M2 仁徳天皇陵古墳、
茶山古墳及び大安寺山古墳 | M8 竜佐山古墳 | M15 履中天皇陵古墳 | |
| M3 永山古墳 | M9 銅亀山古墳 | M16 寺山南山古墳 | |
| M4 源右衛門山古墳 | M10 菰山塚古墳 | M17 七観音古墳 | |
| M5 塚廻古墳 | M11 丸保山古墳 | M18 いたすけ古墳 | |
| M6 収塚古墳 | M12 長塚古墳 | M19 善右エ門山古墳 | |
| | M13 旗塚古墳 | M20 御廟山古墳 | |



- | | | | |
|------------|---------------|------------|-----------|
| F1 津堂城山古墳 | F9 八島塚古墳 | F16 はざま山古墳 | F24 白鳥陵古墳 |
| F2 仲哀天皇陵古墳 | F10 古室山古墳 | F17 墓山古墳 | |
| F3 鉢塚古墳 | F11 大鳥塚古墳 | F18 野中古墳 | |
| F4 允恭天皇陵古墳 | F12 応神天皇陵古墳 | F19 向墓山古墳 | |
| F5 仲姫命陵古墳 | 菅田丸山古墳及びニツ塚古墳 | F20 西馬塚古墳 | |
| F6 銅塚古墳 | F13 東馬塚古墳 | F21 浄元寺山古墳 | |
| F7 助太山古墳 | F14 栗塚古墳 | F22 青山古墳 | |
| F8 中山塚古墳 | F15 東山古墳 | F23 峯ヶ塚古墳 | |

資産分布図